

## 幌延町市街地で拾われたコテングコウモリ

本田 正<sup>1)</sup>・佐藤雅彦<sup>2)</sup>

〒097-0012 北海道稚内市富岡3丁目<sup>1)</sup>

〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町 利尻町立博物館<sup>2)</sup>

### A Record of *Murina ussuriensis* from an Urban Area in Horonobe

Tadashi HONDA<sup>1)</sup> and Masahiko SATO<sup>2)</sup>

3 cho-me, Tomioka, Wakkanai, Hokkaido, 097-0012 Japan<sup>1)</sup>

Rishiri Town Museum, Senhoshi, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0311 Japan<sup>2)</sup>

幌延町からはこれまで6種のコウモリの生息が確認されているが(阿部, 1971; 佐藤ほか, 2001), これらの記録は市街地から離れた森林地帯や湿地の間に点在する砂丘林などからである。筆者らは幌延市街地の路上でコテングコウモリ *Murina ussuriensis* の死体を取得したので(図1), それについて下記の通り報告する。なお, 計測単位はmmを用い, 計測場所は前田(1983), 佐藤ほか(2001)に基づいた。

発見年月日: 2002年9月10日 9:00 a.m.

発見場所: 幌延町宮園1菊地商店前歩道(図2)

第一発見者: 本田 正

発見時の状況: 歩道上の故障のため黒いビニール

袋で覆われた街灯から40cmほどの場所で, 翼手を折り畳んだ状態で死亡しているコウモリを発見。付近に血痕などは見当たらず, 1mほどの場所に飲料水の自動販売機が設置されていた。

標本番号: RTMM191(頭骨標本のみ)

標本保管場所: 利尻町立博物館

性: ♀

齢: 成獣

備考: 乳房の発達が見られた

前腕長(FAL): 31

頭骨全長(GL): 15.3

頭骨基底全長(CBL): 14.3

上顎歯列長-切歯~白歯(UTL, i-m3): 5.7

上顎歯列長-犬歯~白歯(UTL, c-m3): 5.0

吻幅(RW): 3.6

頬骨弓幅(ZW): 8.2

白歯間幅(UMW): 5.2

乳様突起間幅(MtdW): 4.9

脳函幅(BCW): 7.2

脳函高(BCH): 6.8

吻長(RL): 5.9

脳函長(BCL): 9.4

コテングコウモリは道北北部では捕獲調査においてもっとも普通に捕獲される種であるとともに, 秋から冬にかけて民家の壁など, 人の目に触れる場所で発見されることも多いコウモリである(佐藤, 2002)。本個体の取得場所も市街地の歩道に設置された街灯の近くであった。コウモリが拾われた場所から3~4m離れたところには小川が流れ, 付近には鳥獣保護区に指定されている森もあることなどから, 街灯に集まる虫を採餌に来ていた本個体がなんらかの原因によって死亡し, その場所に落ちていたものと想像された。ちなみに本個体には骨折などの



図1. 発見されたコウモリ. Figure 1. *Murina ussuriensis* found dead at Horonobe Town.

大きな外傷は見られなかった。

北海道の多くの地方の市町村がそうであるように、森林棲コウモリの住み処である森に極めて隣接した市街地において、街灯などによる飛翔昆虫の誘因により、コウモリの採餌場所として市街地が利用されている可能性が考えられる。例えば、利尻島においてはキタクビワコウモリが車道や公園、駐車場、港などの街灯に採餌のために集まってきており（佐藤ほか，2002），人間の生活空間がコウモリのもともとの採餌場所に変化を与えている可能性もありうる。今後は付近の森でのコウモリの飛翔や市街地でのバットディテクターなどによる反応の有無などを調査する必要がある。

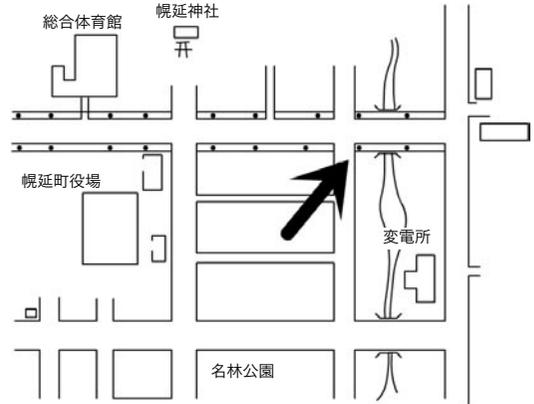


図2. 発見場所. Figure 2. The map for Horonobe Town. The arrow shows the point where the bat was found.

#### 参考文献

- 阿部 永，1974. 幌延町の脊椎動物. 幌延町史：47-58. 町史編さん委員会，幌延。
- 前田喜四雄，1983. 日本産翼手目（コウモリ類）の分類検索表. 哺乳類科学，(46):11-20.
- 佐藤雅彦，2002. 稚内と豊富におけるコテングコウモリの記録. 利尻研究，(21): 1-2.
- 佐藤雅彦・前田喜四雄・赤澤 泰，2001. 豊富町と幌延町におけるコウモリ類の分布. 利尻研究，(20): 23-28.
- 佐藤雅彦・前田喜四雄・福井 大・近藤憲久・柴田 諭・井関健一・坂本里恵・宮本誠一郎，2002. 道北北部の街灯に飛来する種不明コウモリの確認について. 利尻研究，(21): 65-73.